

個性あふれる力作がたくさん
芸術の秋 横越小学校で文化祭

10月27日、小学校で文化祭が開催されました。各教室では、1年生はカラフルな紙で作ったバッグ、2年生は窓が開く楽しい家、3年生は自分たちでデザインした雨の日も楽しくなるパラソル、4年生は木やつるなど身近な材料で作った家の模型、5年生はキャラクターなどをイメージした伝言版、6年生は1枚の板から作成した本立てや椅子、各学年とも風景などの絵画を展示したほか、押し花のしおりや虫の標本といったクラブ作品がずらりと並びました。総合学習として、3年生は酒呑み地蔵などの町の伝説、6年生は空き缶回収ボランティアなどについて展示し、4年生は川の生き物や水の汚れなどを調べた阿賀野川の姿を、体育館で訪れた人たちに発表。また、PTAによる絵本の読み聞かせなども行われました。子どもたちだけでなく、家族や地域の方々も多数訪れて、個性あふれる子どもたちの作品を見て回りました。



料理作りを通して国際交流
スリランカ料理教室

南アジアのスリランカについて知り、交流を深めてもらおうと、10月25日、よこごし国際交流協会の主催により、スリランカ料理教室が中央公民館で開催されました。約20名が参加してスリランカ料理に挑戦。メニューは、魚カレー、豆カレー、野菜カレー、サラダ、サフランライスの5品。スリランカ出身で笹神村在住のワタナベ・アロマさんから、参加者たちは調理の方法を教わりながら、サフランを入れてご飯を炊いたり、たくさんの香辛料を煮込んでカレーを作ったりしました。市販のカレールーを使わずに作ったピリリと辛いカレー、サフランの黄色が鮮やかなご飯、特製ドレッシングをかけた甘味のあるサラダを味わい、「自宅でもぜひ作りたい」という声がありました。また、スリランカの食事や紅茶、気候などについて話を聞いたり、アロマさんのギター演奏に合わせて、やさしい英語の歌を楽しく歌いました。



◀色鮮やかなスリランカ料理

茨城県美浦村の産業文化祭で
当町販売コーナーは売れ切れ続出の大盛況

11月1日から17日まで姉妹村の茨城県美浦村で、みほ産業文化フェスティバルが開催されました。第25回目となった今回は、期間中、芸能発表会や音楽フェスティバル、映画祭、歌謡ショー、作品展示会など様々な催しが行われ、大変賑わいました。

3日には、当町から農政商工課長をはじめJA亀田郷みなみや商工会、球根組合等の生産団体から21名が参加。当町の販売コーナーには、販売開始前から当町の特産品を求めにこられた方々による長蛇の列ができ、持参したごぼう、長芋、梨、チューリップの球根、農産物加工品、鮭の味噌漬けなどが飛ぶように売れ、大半が売れ切れになるほどの大盛況ぶりでした。

また、前日の2日には、美浦村の皆さんから手厚い歓迎会を催していただくなど、姉妹町村の交流を深めることができたすばらしい2日間となりました。



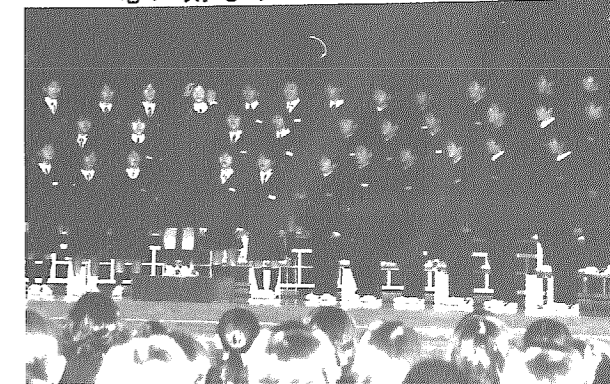
合唱発表と懸命に取り組んできた作品を展示
横越中学校で文化祭開催

10月27日、「認めよう一人一人の個性 心に刻もう新たな感動」をスローガンに、中学校で文化祭が開催され、たくさんの人たちが訪れました。

教室では、生徒たちが授業で取り組んできたデザイン画や習字、エプロン、住宅模型などのほか、1年生は阿賀野川や沢海城といった町の歴史、2年生は港湾や特産物などを調べた町周辺地域のレポート、3年生は京都での修学旅行新聞、家電リサイクル法や温暖化などについて調べた環境問題レポートなどを展示しました。

また、午前に行われた合唱コンクールでは、クラスごとにステージに上がり、学年課題曲と自由曲の合唱を、生徒、先生、保護者の方々を前に披露。体育館いっぱいに歌声が響き渡り、生徒たちに大きな拍手が送られました。午後には、吹奏楽部による演奏、いじめ問題を題材とした生徒有志による演劇も披露されました。

認めよう一人一人の個性
心に刻もう新たな感動



丹精込めて育てた力作ずらり
サンウイング横越でおもと名品展

11月10日、社団法人日本おもと協会新潟支部の主催により、第40回新潟支部おもと名品展がサンウイング横越で開催されました。

おもとはユリ科の多年生植物で、品種は大変多く数百種類にも及び、伝統園芸植物として愛好者が多い植物です。

当町で初めて開催された今回の名品展では、県内各地から約200鉢が出品され、品種ごとの特徴をうまく出して、色や模様・姿などを基準に審査が行われました。虫や病気の害に注意を払いながら丹精込めて育てられた作品の数々を、出品者だけでなく訪れた人たちは、カメラに取めたり、それぞれの作品を見比べながら鑑賞していました。

なお、横越町長賞には、林 敬一さん（新潟市）、横越町議会議長賞には、高橋賢左エ門さん（巻町）の作品が見事選ばれました。



秋の味覚が盛りだくさん
たもぎの里で第6回味覚まつり

10月27日、横越町観光特産品販売組合「たもぎの里」で、味覚まつりが開催されました。平成9年にオープンして以来毎年この時期に開催されているこのまつりは、今回で6回。

たもぎの里の各店舗では、ねぎやキャベツなどの新鮮な野菜、梨や阿賀野川で獲れた川ガニ、鮭料理やきのこ汁など旬の品々が多数並びました。また、あったかくておいしい鮭汁やポップコーン、つきたてのお餅の無料サービス、パンの袋詰め販売のほか、初めて行われたカニ釣りでは、曲げたはり金に糸をつけた釣りざおを操ってすぐに釣り上げる人や四苦八苦している人の姿が見られました。子どもだけでなく大人も楽しくチャレンジしていました。

雨にもかかわらず、秋の味覚を楽しもうと町内外から訪れたたくさんの方たちで賑わいました。